

1 わる数と商の関係について確かめておきましょう。

(1) 次の式をもとにして、()の中に記号やことばを入れましょう。

ア $6 \div 1.5$ イ $6 \div 0.3$ ウ $6 \div 0.5$

わられる数より商が大きくなるのは、() () の式です。

小数のわり算では、1より()数でわると、その商は、わられる数より()なります。

わる数が1より小さいとき大きいときにわけて整理しましょう。



(2) 2つのうち、大きい方を  で囲みましょう。

① 4 と $4 \div 0.2$ ② 1.2 と $1.2 \div 0.2$

2 あまりのあるわり算について確かめておきましょう。

(1) $3.2 \div 0.9$ の計算で、商を小数第1位まで求め、あまりを出しましょう。

$$0.9 \overline{) 3.2}$$

あまりの小数点は、わられる数のもとの小数点にそろえます。



(2) $3.2 \div 0.9$ の ^{検算} をしましょう。

$$\square \times \square + \square = \square$$

わる数 × 商 + あまり = わられる数

◎ 教科書92ページでわる数と商の大きさの関係を確かめましょう。

◎ 教科書93ページで、あまりの表し方、^{検算}のしかたを確かめましょう。

1 わる数と商の関係について確かめておきましょう。

(1) 次の式をもとにして、() の中に記号やことばを入れましょう。

ア $6 \div 1.5$ イ $6 \div 0.3$ ウ $6 \div 0.5$

わられる数より商が大きくなるのは、(**イ**) (**ウ**) の式です。

わる数が1より小さいとき大きいときにわけて整理しましょう。

小数のわり算では、1より(**小さい**)数でわると、その商は、わられる数より(**大きく**)なります。

※ または、「小数のわり算では、1より(**大きい**)数でわると、その商は、わられる数より(**小さく**)なります。」でも正解



(2) 2つのうち、大きい方を  で囲みましょう。

① 4 と $4 \div 0.2$ ② 1.2 と $1.2 \div 0.2$

2 あまりのあるわり算について確かめておきましょう。

(1) $3.2 \div 0.9$ の計算で、商を小数第1位まで求め、あまりを出しましょう。

$$\begin{array}{r}
 3.5 \\
 0.9 \overline{) 3.2} \\
 \underline{27} \\
 50 \\
 \underline{45} \\
 05
 \end{array}$$

あまりの小数点は、わられる数のもとの小数点にそろえます。



(2) $3.2 \div 0.9$ の 検算 をしましょう。

$$\boxed{0.9} \times \boxed{3.5} + \boxed{0.05} = \boxed{3.2}$$

わる数 × 商 + あまり = わられる数

◎ 教科書92ページでわる数と商の大きさの関係を確かめましょう。

◎ 教科書93ページで、あまりの表し方、検算のしかたを確かめましょう。